

守山市 発達支援センターだより

令和元年6月号

令和元年6月28日発行 守山市発達支援センター
守山市下之郷三丁目2番5号 すこやかセンター内
Tel : 077-582-1158 Fax : 077-581-1628



主な事業内容

守山市では、発達上の支援を必要とする人やそのご家族に対して、生まれてから就労まで一貫した継続的な支援（発達支援システム）を行っています。

発達相談

発達検査などにより発達上の課題を把握して、一人ひとりの特性に応じた具体的な関わりと支援について助言します。

言語指導

発音に誤りが見られる子どもたちの相談と指導、コミュニケーション面に支援が必要な子どもたちの指導を行います。

訪問相談

相談員が園や学校の要請に応じて訪問し、支援の必要な子どもたちを早期支援につなげたり、特別支援教育推進について助言を行います。

巡回訪問

幼稚園・保育園・こども園に訪問し、ことばや行動について気になる子どもたちの相談を園の先生を対象に行います。

就労支援

青年期・成人期の進路相談や就労に向けての相談、支援を行います。また、学校や事業所などの関係機関との連携を図ります。

療育支援

発達の遅れや偏りが感じられる子どもたちとその保護者に対して、療育教室を開所し、安心してすこやかに成長していけるよう支援します。

園（幼稚園・保育園・こども園）や小・中学校に通園・通学している場合は、まずは園・学校にご相談ください。
在宅の場合は、発達支援センターにご連絡ください。



「進路交流会」を開催します

高校や高等養護学校等へ進学した生徒の体験談や、保護者の思いを聞く交流会を開催します。

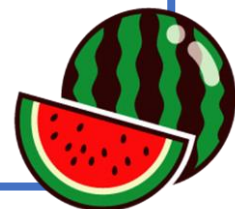
日時：8月9日（金）午前10時から

場所：すこやかセンター3階 講習室

対象：・支援を要する子の保護者・中学生

・市内幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の教職員 等

※ 申込みは不要です。当日会場へお越しください。



発音について

守山市発達支援センターでは、発音が気になるお子さんを対象に訪問言語指導を行っています。

6月号では、訪問言語指導の内容と発音の獲得時期や大切にしてほしいことについて、お伝えします。

✦ 訪問言語指導って？

対象は就学前の5歳児で、担当者が在籍園に出向き、週2回程度の指導を4週間行います（1回15分程度）。4週間の指導終了後は次の指導までご家庭で練習に取り組みます。発音が気になるお子さんは一度、園を通してご相談ください。

✦ 発音の獲得時期や練習時期は？

獲得には個人差があり、自然に正しい発音を獲得するのに小学校1、2年頃までかかるお子さんもいますが、概ね5歳くらいが目安です。また、この時期は字への関心も高まり、正しい発音が「できた」か「できていない」かがわかるようになるため、発音の練習時期には良いと言われています。

✦ 正しく発音するために大切なことは？

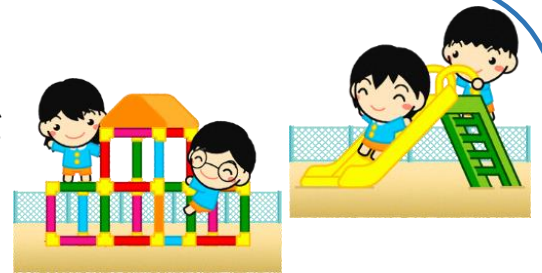
発音は**運動機能**の一つです。体を大きく動かす粗大運動、指先を細かく動かす微細運動、同時にいくつもの動きを必要とする協調運動などがあります。正しく発音をするためには、これらの運動機能を獲得し、舌や口の周りの筋肉の動きをスムーズにする必要があります。

日々の生活の中で、「**発音の基礎となる動き**」をいくつか紹介します。

しっかりと体を動かそう

ブランコ、ジャングルジム、かけっこ、おしくらまんじゅうなど

体をたくさん使って遊びましょう



しっかりと口を動かそう

よく噛んで食べる、吸う（ストローやスプーンから吸う）、吹く（熱い物をフーフー、ラッパ、風船、ハーモニカ）、うがい（ガラガラうがい）、にらめっこ、顔のマッサージなど

表情豊かに顔をたくさん動かそう



しっかりと舌を動かそう

あめ玉を最後までなめる、あめ玉の形を口の中で探る、ソフトクリームをなめる、口の中で果物の種を取り出すなど

楽しみながら、舌の運動をしてみましょう

★★★食事の様子はどうですか？★★★

「噛まずに飲み込む」「口の中にたくさん入れて、なかなか飲み込めない」「偏食」「ムセる」などはみられませんか？「話す」と「食べる」は同じ口や舌を使います。「**話す機能**≒**食べる機能**」ですが、食べ物を口の中に取り入れ、噛み砕いて飲み込める状態にするには発音する機能がしっかりと動かせるようになることが大切なことの一つです。

ご家庭でも、今回紹介した「発音の基礎となる動き」を取り入れてみてくださいね。